

家電

目次

I. 家電製品の概要

1.白物家電と黒物家電	2
2.法令と取り扱い範囲	2
3.メーカーについて	2
4.希望小売価格とオープン価格	3
5.型番と製造番号の見分け方	3
6.専用機と一般機について	3
7.使用電力・アンペア数について	4
8.50hz・60hz・ヘルツフリーについて	5
9.衛生について	5

II. 商品知識

1.調理家電	
①冷蔵庫	6-7
②電子レンジ・オープンレンジ	8-10
③炊飯器	11
④電気ポット・電気ケトル	12-13
⑤その他調理家電	14-15
2.生活家電	
①掃除機	16-18
②洗濯機	19-22
③その他生活家電	23-25
3.空調・シーズン家電	
①除湿機・除湿乾燥機	26-27
②加湿器	28-29
③電気暖房	30

更新履歴

更新日付	更新内容	担当部署	担当者
2026/1/8	新規作成	店舗運営本部	S.Maniwa

Ⅰ. 家電製品の概要

1. 白物家電と黒物家電

家電製品とは、電気機械器具の中で主に家庭用として使用されるもののことを指し、その用途によって白物家電と黒物家電に分類されます。

白物家電とは

家庭内の家事の労力を減らしたり、生活に欠かせない家電製品のことで、普及し始めた当初は白い塗装が多かったことから冷蔵庫・洗濯機・乾燥機・炊飯器などのことを白物家電といいます。⇒主にオフハウスでの取り扱い

黒物家電とは

家電製品のうち、主に音響や映像といった趣味・娯楽の分野で用いられる製品の総称です。本体の基調色に黒色が採用されることが多かったため黒物家電と呼ばれるようになりました。⇒ハードオフとオフハウス単独店での取り扱い

2. 取り扱い範囲と法令

オフハウスでは主に白物家電と呼ばれる品を扱っていますが、全ての白物家電を対象としているわけではありません。法令に基づき取り扱い品目を決定しています。

家電製品の販売に関する法律

- ・電気用品安全法
- ・電波法
- ・計量法
- ・家庭用品品質表示法
- ・薬事法

など、これらの法律の中で電気用品安全法、薬事法に抵触しない範囲内の家電製品を取り扱います。

3. メーカーについて

家電メーカーには、冷蔵庫や洗濯機などの大型家電から電球まで扱う総合家電メーカー、特定の品群を専門としたメーカー、商品の企画だけをして製造委託、輸入販売だけをするメーカーがあります。

総合家電メーカー

- ・パナソニック
- ・東芝
- ・日立
- ・シャープ
- ・三菱電機
- ・LG
- ・サムスン など

専門家電メーカー

- ・タイガー
- ・象印
- ・ダイキン
- ・コロナ
- ・ダイニチ
- ・ツインバード など

4.希望小売価格とオープン価格

家電製品の世界ではメーカー希望小売価格が撤廃され、オープン価格化が進んでいますが、専門家電メーカーなどではまだ一部表示しているところもあります。

希望小売価格とは…

商品を製造するメーカーや輸入する代理店など、小売業者以外の者が、自己の供給する商品について設定した販売参考小売価格

オープン価格とは…

販売する商品に対してメーカー側が希望小売価格を具体的に定めていないもの

5.型番と製造番号の見分け方

家電製品には必ず型番と製造番号が存在します。

型番は商品の顔（前面）と側面や内部に貼り付けてあるラベルに記載されており、製造番号はラベル、もしくは本体の底面に記載されています。

この洗濯機の場合は…



型番は AW-60SDC

製造番号は 159533MZ

※通常、このラベルには製造年も一緒に記載されていることが多い

6.専門機と一般機について

家電製品には販売ルートによって仕様を若干変更している品があります。

メーカーのホームページに掲載されている品を一般機、ヤマダ電機、ジャパネットたかた向けなど一般機の仕様と型番を若干変更した商品を専用機といいます。

販売ルートの違いで、販売店における他店との差別化を図る手段として一部だけ仕様を変えたモデルを発売することは、家電各社でクリーナーに限らず冷蔵庫や洗濯機、FAXなどいろいろな機器であります。

7.使用電力とアンペア数について

契約アンペア数について

契約アンペアの大きさは同時に使用できる電気の量のことです。1アンペア=100Wとして考えます。

同時にどれだけの電気機器を使うのかによって、契約アンペア数を決定します。

一般家庭の場合は10～60アンペアの中から選ぶのが基本で、それぞれのアンペアブレーカーの色は下の表のようになっています。

アンペアブレーカーの色	赤	桃	黄	緑	灰色	茶色	紫
基本アンペア	10A	15A	20A	30A	40A	50A	60A

この写真の場合は…

アンペアブレーカーが緑色なので契約アンペアは30A

同時に100W(1A)の家電製品を30個使用できる

ということになります

漏電遮断器

漏電などで異常な電流が流れると、0.1秒で

電気の流れを止める安全装置



《参考》

主な家電製品の使用アンペア数

エアコン(10畳用)	5.8～20A
42型液晶テレビ	2.1～4.9A
大型冷蔵庫(450Lクラス)	2.5A
掃除機	2～10A
ドラム式洗濯機	2～13A
電子レンジ	15A
IH炊飯器	13A
IHクッキングヒーター(100V)	14A
電気カーペット	6A
ドライヤー	6～12A

8.50Hz・60Hz・ヘルツフリーについて

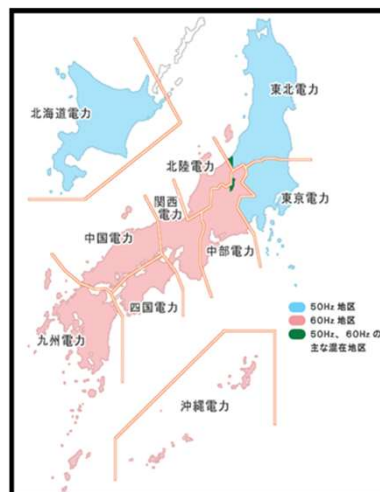
電力会社から一般家庭に供給されている電気は、交流といわれ、電気のプラス(+)とマイナス(-)が1秒間に何十回と入れ代わっています。その入れ代わる回数が周波数(Hz：ヘルツ)と呼ばれます。家電製品の中には、この周波数を基準にしているものがあります。日本では富士川(静岡県)と糸魚川(新潟県)を境に東側は50回(50Hz)、西側が60回(60Hz)となっています。ただし、境界付近には50Hzと60Hzが混在する地区もあるので注意が必要です。

明治時代に日本で電気事業が始まった頃、関東ではドイツから50Hzの発電機を、関西ではアメリカから60Hzの発電機を輸入したことが原因といわれています。

現在家庭で使用されている家電製品の大半は50Hz、60Hzどちらでも使用できるようになっています(ヘルツフリー)が、

- ・切り替えが必要なもの→一部の照明器具
- ・使用できるが能力が変わるもの→エアコン、洗濯機、扇風機など
- ・その周波数でしか使えないもの→単機能の電子レンジ、一部の照明器具

があるため、それぞれの機器に付属の説明書もしくは本体に貼付されているラベルなどで確認する必要があります。



9.衛生について

中古の生活家電は「前に誰がどのように使用したか分からない」、「きちんと清掃されているのか不安」という理由で敬遠されるお客様が多いです。オフハウスで扱う家電製品は、冷蔵庫・洗濯機・調理家電など日常生活に深い関わりのある品が大半を占め、購入されたお客様に安心して使用していただくためにも徹底したクリーニングが必要です。

《クリーニングの一例》

洗濯機

槽洗浄は必ず行い、高圧洗浄機やスチームクリーナーを使用し洗濯槽内の細部までクリーニングする

冷蔵庫

庫内は高圧洗浄機やスチームクリーナー使用し臭いまで除去し、棚やトレイは水洗いの上エタノールで仕上げ拭きする

調理家電

食品を入れる機械等は脱着できる物は水洗い、それ以外は洗剤→水拭き→エタノールで仕上げ拭きをし洗剤成分と臭いの残留を防ぐ

掃除機

ヘッド・ダストカップは外せる部分は洗剤で洗い、濯いだあと確実に乾燥させる
フィルターもつけ置き洗いをし、ゴミと臭いの残留を防ぐ

II. 商品知識

1. 調理家電

① 冷蔵庫

冷蔵庫とは、飲食物を低温で保存するために内部を冷却した箱、部屋のことです。0℃以上、主に3℃～10℃の間で保存するのが冷蔵庫、0℃以下で凍らせることを目的としたものを冷凍庫、両方の機能を併せ持ったものを冷凍冷蔵庫といいます。ここでは、家庭用の冷凍冷蔵庫について説明します。

冷却方式について

家庭用の冷蔵庫には

「気化圧縮型」・・・コンプレッサーで圧縮させた冷媒（ガス）を循環
「ペルチェ効果型」・・・コンプレッサーと冷媒を用いずペルチェ素子の特性を利用の2種類の方式がある。気化圧縮型は家庭用の冷蔵庫・冷凍庫・冷凍冷蔵庫に採用されており一般的な冷却方法です。ペルチェ効果型はワインセラーや20L以下の小型冷蔵庫、ポータブル冷温庫の冷却方式として採用されています。

冷却温度別の呼称と使い方

呼称	温度	使用目的
冷凍室	約-18℃	冷凍食材やアイスクリームなどの長期保存が可能な食材を保存
パーシャル室	約-3℃	食材がわずかに凍る微凍結の状態。肉や魚、ハムなどの加工食材などを保存
氷温室	約-1℃	凍らない状態の温度帯で、肉や魚、貝類、お刺身などを保存
チルド室	約0℃	肉や魚、ヨーグルトなどの乳製品、かまぼこなどの練り製品、漬物などを保存
冷蔵室	約3℃～5℃	サラダや惣菜などの残り物、デザート類などすぐ食べる物や凍らせたくない物を保存
冷蔵室のドアポケット	約6℃～9℃	卵や調味料やドリンクなどあまり温度に左右されない食材を保存
野菜室	約5℃～7℃	野菜専用のスペース。果物やドリンク類も保存が可能
ワインセラー	約13℃～15℃	ワインを一定の温度で保管しコンディションを保つことが目的

350L以上のファミリーユースタイプの冷凍冷蔵庫には、切り替えルームというものがあります。それぞれの家庭の使用状況に合わせてパーシャル・チルド・氷温野菜に切り替えて使用することができます。

使用人数に応じた冷蔵庫の選び方

冷蔵庫を選ぶ際にポイントとなる必要容量は、一般的に以下のように算出できます。

$$70\text{L} \times \text{家族の人数} + \text{常備品分}(100\text{L}) + \text{予備}(70\text{L})$$

例えば、4人家族なら70L×4人+常備品分（100L）+予備（70L）で450Lが目安となりますが、買い物の頻度や自炊、外食どちらのライフスタイルにするのかにより必要な容量も変わるので冷蔵庫を購入する際にはよく検討することが必要です。

《参考》

1人暮らし(外食・コンビニ派)	・・・120～200L未満	→ 2ドア
1人暮らし(自炊派)～2人暮らし	・・・200～300L未満	→ 3ドア
2人～3人暮らし	・・・300～400L未満	→ 3～4ドア
3人～4人暮らし	・・・400～450L未満	→ 5～6ドア
4人～5人暮らし	・・・450L以上	→ 6ドア

冷蔵庫設置の際の注意点

冷蔵庫を設置する場合、冷蔵庫その物の置き場所以外に『放熱スペース』を確保する必要があります。放熱スペースはモデルにより若干異なるが、大概のモデルで上部5センチ、左右5～10ミリ程度のスペースが必要とされています。

また、『ドアの開閉方向』にも注意が必要です。冷蔵庫には右開き・左開きと2種類モデルが用意されています（SHARPに限り両開きモデルあり）。400L以上のモデルに関しては観音開きタイプも存在し、設置場所に応じて選ぶ必要があります。

冷蔵庫の移動方法

400L以上のモデルでは総重量が90Kgにもなります。以下の手順で動かしましょう。

- ①冷蔵庫の下部にある前面カバーを取り外す
- ②掃除機や、ホウキ等で冷蔵庫の底面のゴミを取り除く
- ③冷蔵庫前面の調整脚を上げる
- ④冷蔵庫の前部を持ち上げるようにし手前に引き出す
- ⑤冷蔵庫の設置してある場所から左右の家具等に接触しないようそのまま真直ぐに引き出す

冷蔵庫運搬の際の注意点

冷蔵庫運搬時の注意事項は3つあります。

①水気に注意

自動製氷機で氷を作っている場合は、忘れずに溶かしておきます。また、氷用の水が残っている場合は捨てておきます。下部にある蒸発皿の水を抜きます。抜き忘れると運搬時に溜まった水が漏れます。特に古い冷蔵庫や小型のパーソナルサイズの冷蔵庫の場合、霜が溶けて水が出ることもあるので、霜とりをする必要があります。

②横倒し厳禁

冷蔵庫を搬送する場合、必ず縦にして運びます。冷蔵庫を横積みにして運搬すると、圧縮機の中に入れている冷凍機オイル（圧縮機の潤滑油）が、冷却システム内に回ってしまい、故障の原因になります。出張買取・配達などで横倒しが避けられない場合は、真横にはせず冷蔵庫の上方を毛布などで30cm位高くしましょう。

③電源を入れるタイミング

オイルやガスが安定する1時間ぐらいは電源を入れるのを避けます。運搬時にやむを得ず横倒しにしてしまった場合は最低でも4時間、出来れば一晩経過してから電源を入れます。設置した後、庫内が冷えるまではなるべくドアを開けないで庫内が冷えてから食品を入れるようにします。中が冷えるまで冬場は2～3時間、夏場は6時間以上かかることがあります。

②電子レンジ・オーブンレンジ

2.45GHzのマイクロ波を利用し、食品に含まれる水分を発熱させることで食品を加熱調理できます。水分子に作用するため、水分の全くないカラの陶器などを入れても温かくはなりません。

電子レンジの種類

呼称	特徴	価格帯
単機能レンジ	マイクロ波を食材に当てて内部の水の分子を振動させ加熱するしくみで「電子レンジ」のこと	4,980円～ 10,000円前後
トースターレンジ	オーブンレンジが普及する前に存在した品で、電子レンジ+オーブントースターのいいとこどりの品、現在は製造されていない	－ － － － －
オーブンレンジ	電子レンジにオーブン・グリル機能をプラスして加熱し、「焼く」機能を加えたもの	8,980円～ 15,800円前後
スチームオーブンレンジ	300℃以上になる高温のスチームを発生させ、庫内を一気に高温にして調理する	19,800円～

加熱の仕組みと特徴

レンジ（温め）加熱、オーブン加熱、グリル加熱など、レンジには大きく分けて3種類の加熱方法があります。

		レンジ加熱	オーブン加熱	グリル加熱
加熱の仕組み		マイクロ波が食品に含まれた水分子を振動させ摩擦熱を起こし、その熱によって食品を内部から温める	ヒーターや熱風で庫内全体を熱くし、食品を外側からまんべんなく加熱、食品からでる水蒸気で蒸し焼きにする	食品をヒーターによる直接加熱と、熱くなった庫内の壁や空気の熱によって、短時間で一気に焼き上げる
特 徴		焦がさずに、食品全体を温められ、短い時間で加熱することができる	食品の全体に熱がかかるため、柔らかく香ばしい仕上がりになる	旨みを逃さず中身はジュシーに、外側はこんがり焼き上げる
	耐熱ガラス	○	○	○
	耐熱プラスチック	○	×	×
	陶器・磁器	○	○	○
	漆器	×	×	×
	木・竹・紙	×	×	×
	金属容器	×	○	○
	ラップ	○	×	×
	アルミホイル	×	○	○

レンジの出力

料理を温める際にかかる時間は、レンジ出力によって変わります。レンジの出力数は「ワット (W)」で表され、この数字が高ければ高いほど加熱時間が短くなります。温め機能のみの電子レンジでは、最大出力数が、500W～700W前後加熱の商品が主流だが、オーブンレンジでは、1000W程度の商品が数多く発売されています。
※一部の冷凍食品やレンジ加熱専用の食品には、加熱時のレンジ出力の指定があり、それを超えた出力ですと食品自体を傷めてしまうので注意が必要です。

オーブンレンジの価格差となる機能

オーブンレンジは、価格帯によって構造・機能等が異なります。構造・機能の差がそのまま価格差に反映されやすい品です。その構造や機能について解説します。

①縦開き・横開きと庫内容量

・横開きタイプ

パーソナルタイプのモデルに採用されている
庫内容量：15L前後(1人暮らし向け)



・縦開きタイプ

中堅クラスの価格帯に多く採用されている
庫内容量：20～30L前後(2～4人家族向け)
※操作パネル部分があるので要領に限界がある



・縦開きタイプ

ハイクラス、フラッグシップモデルに採用されている
庫内容量：30L以上(大家族向け)
※操作パネルを扉の前面に移設したため同じ本体幅で容量アップ



②重量センサー

ターンテーブルに置いた総重量で加熱時間を調節、重い器を使うと加熱しすぎます。

③ターンテーブル・フラットテーブル

上位機種は庫内に皿がないのが主流、回転皿がないので大きな皿やコンビニ弁当でもムラなく加熱できるのが利点です。庫内がフラットなので手入れも楽です。

・ターンテーブル

皿を回転させてムラなく加熱させ、皿からはみ出すものは加熱にムラが出ます。
パーソナルタイプ、廉価のファミリータイプに採用されています。
パーソナルタイプの回転皿はレンジ加熱、オーブン・グリル調理兼用、
ファミリータイプの場合はレンジ加熱は回転皿、オーブン・グリル調理時は角皿を使用するモデルも存在するので注意が必要です。



- ・フラットテーブル
庫内のどこにおいても均一に加熱されるのが特徴です。
コンビニに設置されている電子レンジがこの方式のものです。
オーブン・グリル調理時は角皿を使用します。
上位モデルは2枚の角皿で別々のメニューを調理することができます。



④ヒーターの種類

パーソナルタイプ、廉価のファミリータイプに採用されているヒーターは上部からのみの加熱のため、ターンテーブルがないと加熱ムラが生じます。モデルによっては2本搭載されています。

ミドルクラス以上に採用されているフラットヒーターは上面と下面から包みこむように加熱します。これに熱風循環用のファンがプラスされているモデルもあり、熱源からの距離が均等なので加熱ムラが少なくなります。

⑤赤外線センサー

食品の表面温度を赤外線センサーでチェックしながら温め、加熱を調節する高性能センサーです。上位機種 of センサーはこのタイプが主流となっています。

⑥蒸気センサー

食品から出る蒸気を検知して加熱を調節します。ラップをして加熱すると蒸気が感知できず加熱しすぎるので要注意です。

⑦自動スチーム機能

水蒸気を発生させるスチーム機能にはタンクに水を入れて使うタイプと、トレイや角皿に水を張るタイプがあります。自動スチームとは、スチームの温度・量・タイミングを自動で調節する機能のことです。

電子レンジの遮蔽網について

電子レンジの扉には網が取り付けられており、この網はレンジ加熱する際に使われるマイクロ波が外に漏れないようにするためのものです。

本体扉の素材は、オーブンレンジは耐熱ガラス、格安の単機能レンジはコスト削減のためプラスチック板が取り付けられています。

マイクロ波が網の目を抜けて外に飛び出すことはないのでプラスチック板が溶ける・損傷するということはありません。

オーブンレンジ設置の際の注意点

オーブンレンジの設置必要空間は「消防法規定」で定められています。本体が熱くなるため(例：上部15cm・左右3cm・裏3cmなど)、周囲に空き寸法が必要です。必要な設置スペースはカタログ・取り扱い説明書などに明記されているので確認が必要です。

③炊飯器

炊飯器は、毎年秋の『新米』が登場する時期に合わせて新型を発売するため、炊飯器の内釜、炊飯方法は毎年秋に発売される新型モデルで進化します。

炊飯器の種類は加熱方法によって分けられます。

炊飯器の種類

呼称	特徴	価格帯
圧力IH炊飯器	ヒーターが釜の底部分のみにあり、その熱が釜に伝わって炊飯する方式。そのため、釜全体が発熱するIH炊飯器に比べると、熱の強さは弱い。	4,980円～ 10,000円前後
超音波炊き炊飯器	電磁誘導加熱(Induction Heating)のこと。IH炊飯器は、電磁力の働きで内釜自体が直接発熱する。全体にむらなく熱を伝え、高火力で一気に加熱することができる。	10,000円～ 100,000円前後
スチームIH炊飯器	ガスの高火力で一気に炊き上げるため、電気炊飯器に比べ省エネ。またガス炊飯器を代々使い続ける根強いファンも多い。	10,000円～ 60,000円前後

内釜をはずして中が黒いものがIH炊飯器です。

IH炊飯器は釜自体が発熱するので本体にヒーターは入っています。

メーカーごとに採用している釜の構造が異なるため、特徴を把握しておきましょう。

呼称	特徴	採用メーカー
厚釜	釜を厚くし熱を蓄えて包み込むように炊く。厚さは2～3ミリ マイコン炊飯器、廉価のIH炊飯器に多く採用されている。	各社の普及 モデルに採用
多層釜	3層～9層までメーカー、グレードごとにいろいろある。 ステンレスでアルミや銅などを挟んで構成されている。	東芝、三菱 タイガー
真空釜	魔法瓶と同じ構造で、発熱した熱を逃がさない構造になっている。多層釜、銅釜に比べ軽く扱いやすい。	象印
銅釜	釜全体が銅、もしくは多層釜を銅でコーティングしてある 釜のことを言う。熱伝導率が高い。	パナソニック サンヨー
炭釜	内釜に金属ではなく炭素素材を使用、熱伝導率が高く遠赤外線効果もあるので短時間にムラなく加熱できる	三菱
土鍋	土鍋は蓄熱性が高く遠赤効果があるため、ゆっくり熱が伝わり冷めにくいのが特長	タイガー
鉄釜	鉄はIHの発熱効率が高く非常に相性が良い。南部鉄器を使用した釜も登場	日立、象印 シャープ

IH炊飯器ではメーカーごとに炊飯方式が異なるため、名称だけでも覚えておきましょう。

呼称	特徴	価格帯
圧力IH炊飯器	圧力鍋と同じ原理で、内釜に圧力をかけて短時間でご飯を炊き上げる方式。内部に圧力をかけると温度が上がり、熱がお米の中心部まで伝わりふっくらと炊き上がる。	東芝、象印 タイガー、日立 サンヨー
超音波炊き炊飯器	毎秒88,000回の超音波振動をお米に加え、水をお米の内部まで浸透させる。これにより、お米の持つ甘みを最大限引き出すことが出来る。	三菱
スチームIH炊飯器	炊飯行程の最終段階で130℃の高温スチームをかけながら加熱する。保温時・冷めたご飯の再加熱時にも使用でき、炊き立てに近い状態のご飯に出来る。	パナソニック

④電気ポット・電気ケトル

電気ポットは、水を沸騰させ、保存するための電気機器で、温度を維持するための保温機能、100℃のお湯だけでなく、90℃・80℃・60℃のように、温度を下げたお湯を作るための温度設定機能、電力を使用せずに温度を維持するための魔法瓶としての機能など、多くの機能を持っているのが特徴です。

一方、電気ケトルは1リットル前後の水を素早く沸騰させることが出来るが、電気ポットと異なり保温機能は搭載されていません。やかんでお湯を沸かすのよりも手軽なため、一人暮らしで生活する人などに人気です。

	電気ケトル	電気ポット	電気まほうびん
			
保温の仕組み	保温機能はない。 保温機能付のモデルもあるが電気代が割高になる。	常時ヒーターを作動させ継続的に加熱することで設定温度を維持している。	まほうびんの構造を応用した内容器になっていて、沸かしたお湯が冷めにくくなっている。 上位モデルに採用
特 徴	少ない量の水を短時間で沸かすことができる。 転倒時の安全対策がないモデルもある	温度を指定して沸騰・保温ができる。電気がない保温も給湯もできない。 ※電動給湯ポットの場合	電気を使わず保温できる。エア給湯、電動給湯、バッテリー給湯など場所を置かず使用できる
消費電力(沸騰)	1,000～1,300w	700～1,300w	700～1,300w
消費電力(保温)	50～65w	35～40w	18～20w
容量	1L前後	1～4.L	2.2～4L
カルキ飛ばし	×	○	○
浄水機能	×	機種による	機種による
温度設定	×	2.2L以上	○
タイマー設定	×	2.2L以上	○
電動給湯	×	○	○
コードレス給湯	○	機種による	機種による
転倒時の安全対策	×	○	○

内容器の特徴

電気ケトル、電気ポット、電気まほうびんのそれぞれの内容器の画像、それぞれ特徴があるので見た目で判断できるように覚えておくのが望ましい。

・電子ケトル

お持ち込みされる電気ケトルの大半がこのタイプで、プラスチック製容器の底にむき出しになった熱源が装着されています。

内部が狭く、複雑な形状をしているため手入れは面倒です。

一部メーカーでは電気ポットと同様にフッ素加工を施した容器を採用しています。



・電気ポット

いわゆる電気ポットと呼ばれる品の大半でこの内容器が採用されています。

フッ素加工されているものがほとんどですが、ピーコック等の廉価なモデルではフッ素加工されていない内容器となっています。



・電気まほうびん

2.2Lクラスで5,000円以上の品から採用されている内容器です。

ステンレスまほうびんと一緒に構造で容器が2層構造になっていて間の空間が真空状態になっています。そのため外に熱が漏れません。また入口を狭く、底面はヒーター部分スレスレまで真空構造となっており、熱の漏れを最小限にしています。90°Cのお湯を電源無しで2時間保温できる構造になっています。



VEマークについて

象印・タイガーの電気まほうびんにつけられているロゴマークです。

VEはバキューム&エレクトリックの略で、真空保融合した技術であることを表しています。パナソニックは独自の断熱技術を採用しているため、VEマークはつきません。



⑤その他調理家電

・ガステーブル

ガステーブルを中古で取扱いする場合は以下の点に注意しましょう。

①対応するガスの種類

⇒「都市ガス（12A/13A）用」か「プロパンガス用」か

東京都内ではプロパンガス用の需要はほとんどありません。埼玉県や千葉県では都市ガスが使えない地区もあるため、都市ガス用の需要が無いところもあります。店の所在地の状況に合わせて扱きましょう。

②本体幅

⇒「60cmタイプ」か「56cmタイプ」か

③ガスホースは外して販売

⇒ホースの素材の劣化によりガス漏れを起こす場合があります。

④ビルトインタイプは未使用品のみ取り扱う

⇒取り付け工事が必要なため使用品は扱わない

中古品を取り扱いする場合は、

- ・ 燃焼テストの有無
 - ・ ガス種(都市ガス用かプロパンガス用か)
 - ・ 本体幅(60cmタイプか56cmタイプか)
 - ・ ハイカロリー(強力な火力のコンロ)側の表示(右側か左側か)
- を明記して販売しましょう。



据え置き型ガステーブル
※ガス台の上に置くタイプ



ビルトインガステーブル
※システムキッチンに組み込まれ、調理台と一体化するタイプ

・ホットプレート、グリル鍋、たこ焼きプレート他

ホットプレート、グリル鍋、たこ焼きプレートなどは原則として未使用品のみの取り扱いとします。

使用品を中古として販売する場合は、商品の状況や付属品の確認を行い、必ず動作チェックを行います。



・ホームベーカリー

ホームベーカリーは原則として未使用品のみの取り扱いとします。

使用品を中古として販売する場合は、商品の状況や付属品の確認を行い、必ず動作チェックを行います。



・IH調理器

IH調理器には

卓上型、据え置き(ガスコンロとの置き換え)型、ビルトイン(システムキッチンへの組み込み)型があります。

卓上型は100Vのコンセントにプラグを差し込めばすぐに使用できますが、据え置き型、ビルトイン型は200Vの専用回路が必要になり、使用する場所によっては

- ・200V電源の新設(最悪の場合は電柱からの引き込み)

- ・既存のガス回路の撤去

等の工事が必要となります。

使用品は店舗での動作チェックができないため、未使用品のみの取り扱いとなります。



卓上型



据え置き型



ビルトイン型

2.生活家電

①掃除機

掃除機とは、ゴミやホコリを容器内に回収する機械です。本体形状、集じん方式、ヘッドブラシの形状、電源の方式等の違いでさまざまなモデルが販売されています。ここでは、主にヨコ型・タテ型クリーナーを説明します。

形状ごとの呼称

- ・ヨコ型クリーナー

ホース繋がっている普通の掃除機、家庭でよく使われているのがこのタイプ



- ・タテ型クリーナー

一人暮らしの世帯や2台目として使用されているタイプ



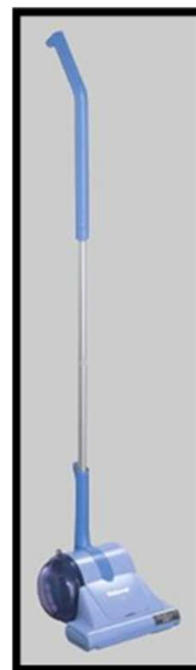
- ・ハンディクリーナー

机の上や棚の上などささっと掃除したいときに使われるタイプ



- ・電気ほうき

床のホコリやチリを回転ブラシで吸引せずに掻きこむタイプ



- ・業務用掃除機

ゴミやホコリだけでなく水を吸い込むことの出来るモデルもある



- ・ロボクリーナー

自動で室内を回り、回転ブラシで掻きこみ、さらに吸引できるタイプもある



集じん方式

掃除機には大きく分けて3つの集じん方式があります。それぞれ長所・短所があるので使い方に適したモデルを選ばなくてはなりません。

集じん方式	ダストビン式	サイクロン式	紙パック式
仕組み	あつめたゴミやホコリをプラスチック製の容器に集める	吸い込んだ空気を竜巻状に回転させ、重さの違う空気とゴミを分離	ホコリを本体内部の紙パックに集め、吸い込んだ空気はフィルターの役割をする紙パックを通過し排気される
メリット	・紙パック不要で経済的 ・紙パックによる目詰まりがなく吸引力が持続	・紙パック不要で経済的 ・紙パックによる目詰まりがなく吸引力が持続 ・掃除機から出る排気がキレイ	・ホコリに触れずにゴミ捨てができる ・サイクロン式より集じん容量が多い ・安価で購入しやすい
デメリット	・ゴミ捨て時にホコリがまう ・ダストビンの容量が小さい	・ゴミ捨て時にホコリがまう ・ダストカップの手入れが必要 ・フィルターが目詰まりすると吸引力が落ちる	・排気にゴミのにおいが移る ・紙パックに溜まったゴミが抵抗になり吸引力が落ちる

ヘッドブラシ

掃除機のヘッドブラシには3つの種類があります。それぞれ得意とする床面があるので、自宅の床の素材等を考慮し選ぶ必要があります。

	普通ブラシ	ターボブラシ	パワーブラシ
			
特徴	回転ブラシがついていない普通のノズル。店舗で使用している掃除機もこのタイプ	吸い込まれる空気の力を使ってブラシを回転させる。ホコリをかき出す力はパワーブラシより落ちる	本体から供給される電力を使ってモーターでブラシを回転させる。ヘッドが重いが自走式もある。
床・たたみ	☆☆☆(床・畳専門)	☆☆☆	☆☆☆
カーペット	☆(カーペットには不適)	☆☆	☆☆☆
価格帯 紙パック式	5,980～9,980円 6,980円前後が多い	10,000円～16,000円前後 15,800円前後が多い	18,000円以上 高付加価値モデル多い
価格帯 サイクロン	サイクロン式で普通ブラシのモデルは皆無	15,000円以上 中古はこのクラス多い	20,000円以上 高付加価値モデル多い

吸込仕事率

掃除機の吸込み性能を示す数値として、日本国内では『吸込仕事率』が用いられています。

$$\text{吸込仕事率} = \text{真空度（ゴミを浮き上がらせる力）} \times \text{風量} \times 0.01666$$

という数式を用いて算出され、数値が大きいほど吸引性能が高く、W（ワット）で表示されます。この数値の測定はヘッドブラシを外した状態で行われます。

単位は同じですが、吸込仕事率は消費電力ではありませんのでご注意ください！

右の写真の掃除機の場合…

定格消費電力が950W

吸込仕事率が450W

※コードレスクリーナーや海外製の掃除機の場合、
吸込仕事率の表記がされていないモデルもあります。

吸込仕事率が高い＝ゴミがよく取れる ではありません

吸込仕事率は実際に掃除をするときの吸込み性能を示すものではなく、
吸込み性能は取り付けられているヘッドブラシによって変動します。
吸込仕事率の測定は2007年から新基準に基づいて行われています。

欧米では、国際基準の『ダストピックアップ率』で性能評価をします。

ダストピックアップ率とは、
IEC（国際電気標準会議）が定めた主としてカーペットの清掃能力を表す指標であり、標準として定められたカーペット面に基準量のスタンダードダストを器具で散布しローラーで押し広げた後、一定の速度・動作・回数で掃除機で吸引し、回収できたスタンダードダストの重量の割合をパーセントで表したものの

注意事項

・ダイソン製品

ダイソンジャパンの正規販売品とダイソンUSAの並行輸入品とが流通しています。
USA仕様も日本国内で使用はできますが、ダイソンジャパンはダイソンUSAの並行輸入品の修理・サポートは行いません。

そのため店舗で3ヶ月保証をつけても国内に修理を頼むところがありません。

日本仕様のものはダイソンジャパンへ修理を依頼できますが、お客様がダイソンジャパンにユーザー登録をしている必要があります。

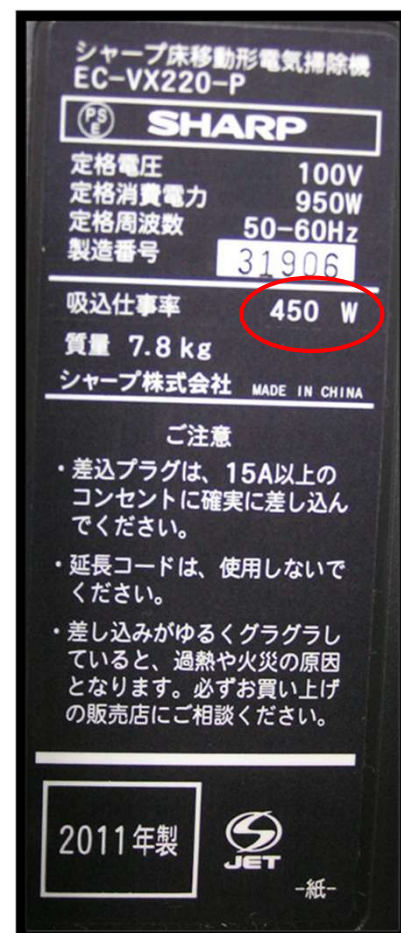
USはUSA仕様のシリアルナンバー、日本仕様はJPと記載



・ルンバシリーズ

ルンバシリーズも日本正規代理店から発売されているもの、USA仕様の並行輸入品がありますが、こちらも国内正規品の修理はしてくれますが並行輸入品は対応してくれません。

国内正規品のホログラムシール



②洗濯機

電気の力を使って衣類などの汚れをきれいにすることができる家電製品で、現在は全自動洗濯機、洗濯乾燥機が主流ですが、高齢者を中心に二層式洗濯機のニーズも高いです。

洗濯機の種類と特徴

洗濯機は大きく分けて3種類に分類されます。それぞれに長所と短所があり、家族構成・設置場所をよく考えて選ぶ必要があります。最近の住宅の洗濯機置場に設置されている防水パンは全自動洗濯機用のものとなっており、洗濯機購入の際は自宅に設置されている防水パンの内寸を測って置かなければいけません。

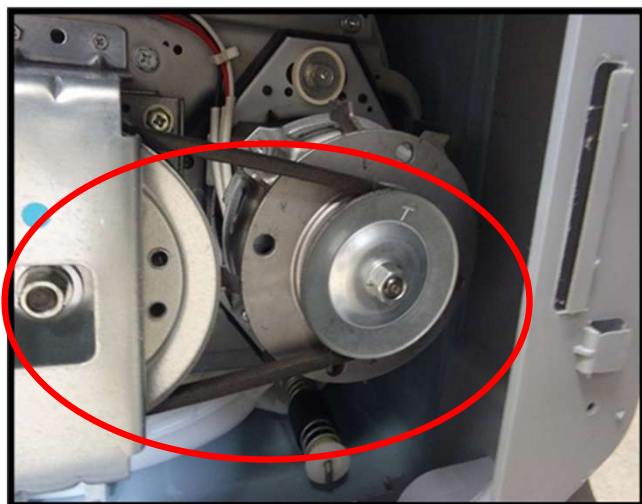
	二層式洗濯機	全自動洗濯機	洗濯乾燥機
			
特徴	1つの槽で水と洗剤で衣類などを洗う作業と、水で衣類などをすすぐ作業を行い、もう1つの槽で衣類などを脱水する作業を行える洗濯機	衣類と洗剤を入れてスイッチを押すだけで、洗濯から脱水までの作業を自動で行ってくれる洗濯機。現在、洗濯機といえばこれのことを指す。	全自動洗濯機にさら乾燥機能が付いた洗濯機 現在はドラム式が主流
長所	汚れがよく落ちる 使い方次第で節水・節電になる	モデルのラインナップ豊富 全て自動なので洗濯が楽	衣類の痛みが少ない 洗濯物の出し入れが容易 使用水量が少ない
短所	衣類が傷む 寸法が現在の住宅事情に合っていない	洗濯槽の構造によりカビがつきやすい 汚れ落ちが2槽式より劣る	重い(70キロ以上) 汚れ落ちが悪い 乾燥まで行くと時間がかかる
容量	2.5Kg～5.5Kg	4.2Kg～8.0Kg	6.0Kg～9.0Kg
標準 使用水量	使用状況により変動	85L～125L	65L～80L
風呂水給水	バケツや別売ポンプ使用	機種によりポンプ内蔵	ポンプ内蔵
価格帯	24,800～39,800円 容量で値段が変わる	19,800～89,800円 容量・仕様で値段が変わる	100,000円以上 容量・仕様で値段が変わる

インバーター式

90年代後半に登場した技術で、洗濯機のパルセーター（底についている回転翼）の回転制御の技術の一つです。

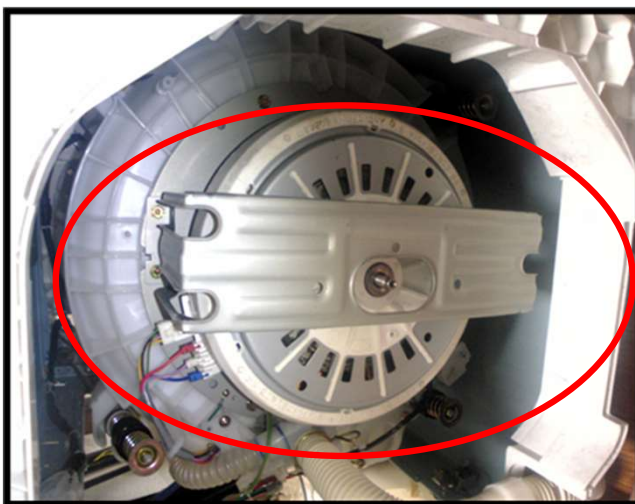
6.0Kg以上の容量の上位モデルに採用されており、下位モデルは通常のベルトドライブ式となっています。インバーターは、モーターの回転数を変化させることによって、強い水流からやさしい水流まで本格的な水流調節が可能です。また脱水においても、シルクやウールはやさしく絞り、厚物はしっかり念入りに行うことができます。さらに静粛性も優れており、モーターのうなり音や洗い・すすぎ時の水はね音が少なく、脱水開始時はゆっくり回転することで水切り音も低減させています。

ベルトドライブ式



モーターで発生させた動力をベルトを使ってパルセーターに伝達している

DDインバーター式(東芝)



モーターとパルセーターが直結されているので運転音がせず、夜中でも洗濯可能

ヒートポンプ式

ドラム式洗濯乾燥機の乾燥方法の一つで、洗濯機の中のヒートポンプにより熱交換した熱で衣類を乾燥させます。

エアコンや給湯器にも使われている技術でヒーター加熱の電力が要らない分、使う電力量は少しだけで済みます。空気を冷やすための水道水も不要でヒーター方式に比べて、使う電力量・水量を大幅に削減できます。

ヒートポンプ方式の長所は

- ・ 60℃前後の低温乾燥なので生地への傷みが少ない
- ・ 室温が上がらない
- ・ 温度が上がりにすぎないので乾燥途中でもドアの開閉ができる
- ・ 省エネ

が挙げられます。短所は本体の金額が15万円以上のため高い点です。



ヒーター乾燥式

ヒーター乾燥式には2種類の方式があります。

縦型の乾燥洗濯機や、下位のドラム式乾燥洗濯機に採用されています。

・水冷タイプ

冷却水(水道水)で湿気を含んだ温風を除湿し、外部に排出

・空冷タイプ

空気中に湿気を含んだ温風を排出

この2点の商品知識をもとに洗濯機・洗濯乾燥機を分類すると5つのランクに分類できます。インバーターの有無、ヒートポンプの有無で価格帯が大きく変わるため注意しましょう。

価格帯	特 徴
2万～3万クラス	一般の全自動洗濯機で、最も安価なクラスの縦型の全自動洗濯機。洗濯容量は4.2kgと5kgで、一人～二人暮らし向けのサイズ。モデルによって、洗濯槽が抗菌プラスチックのものとステンレス槽のものがある。
4万～6万クラス	一般の全自動洗濯機で、サイズが大きくなる。洗濯容量は6kg～8kgなどで、ファミリー向けのサイズになる。全てのモデルがステンレス槽搭載となるがインバーターは付いていない。
6万～8万クラス	一般の全自動洗濯機で、インバーター搭載モデル。洗濯容量は、6kg～8kgがあり、二人暮らし～ファミリーサイズとなる。このクラスも全てステンレス槽となり、その他にも、カビ付着防止機能や 簡易的な風乾燥機能が搭載される。
9万～12万クラス	このあたりから洗濯乾燥機が登場。洗濯乾燥機には、縦型とドラム式がある。この価格帯はヒーターで乾かす温風式の乾燥モデル。衣類によっては熱で縮んでしまったり、生地が傷んでしまうこともある。
15万～クラス	洗濯乾燥機のうち、ドラム式のヒートポンプ式などがこの価格帯。ヒートポンプ式は、エアコンの除湿のようなイメージで洗濯槽内乾燥をするため 衣類が熱で縮んでしまったり、痛んでしまったりする心配が無くなる。

洗濯機運搬時の注意事項

冷蔵庫運搬時の注意事項は3つあります。

①水気に注意

洗濯機内部には洗濯槽が空の状態でも必ず水が入っています。洗濯機を横に倒して水を強制的に排出させようとすると、洗濯機内部の芯棒が曲がり、再び使う時に異常振動を起こして故障する原因にもなります。給水・排水ホース内にも水が残っていることがあるのでしっかり水抜きしてから運搬しましょう。

②横倒し厳禁

洗濯機は基本的には横倒し厳禁です。横倒し状態で搬送されると洗濯槽等がゆれ、外装がキズついたり吊り棒（洗濯槽を吊っている棒）外れなどの不具合が発生する恐れがあります。やむを得ず横倒しで運搬する場合は、

- ・真横にしない
- ・上面、下面を確認し上面を必ず高くし下面を低くなるようにする
- ・横倒し運搬距離はできる限り最小限の距離にする
- ・運搬中に大きくゆすったり衝撃を与えない

※ドラム式洗濯乾燥機を運搬する際は必ずドラム固定ボルトを使用すること

③設置時の注意

お客様から設置を依頼された場合、特に注意しなくてはならないのが給水・排水ホースの接続です。

排水ホースは設置場所により右・左・後方・真下と排水ホースを出す向きが変わってきます。状況に応じて変更が必要です。

給水ホース接続時に注意しなくてはならないのが『給水継ぎ手』の取り付けです。最近の建築物はワンタッチタイプの水栓になっていますが、古い建築物では普通の水道の蛇口に取り付けるようになっていました。給水継ぎ手を取り付ける場合は設置を担当するスタッフは正しい取り付け手順を知っておく必要があります。



給水継ぎ手

③その他生活家電

・生ゴミ処理機

家庭用生ゴミ処理機は、ゴミを減量化し資源化するための機械で、家庭用生ゴミ処理機には「乾燥式」と「バイオ式」の2つの処理方式があります。それぞれ長所・短所があるため使い方に適したモデルを選ばなくてはなりません。

処理方式	乾燥式	バイオ式
仕組みの概要	熱や温風で生ゴミの水分を蒸発させ乾燥させ減量し、容量も小さくする方式のもの ⇒ゴミの減量化が目的	生ゴミを微生物の働きで水と炭酸ガスに分解して容量を小さくする方式のもの ⇒堆肥を作ることが目的
メリット	バイオ式と異なり専用の基材を必要としない 室内に設置できる 寒冷地での使用もできる	堆肥が出来る ・ランニングコストが安い
デメリット	熱、温風で処理するので電気代が掛かる	発行臭が出るため室内設置できない 微生物の働きに分解を依存するため寒冷地での使用が難しい

《自治体による助成金制度》

家庭用生ゴミ処理機を購入する人に対して、自治体によっては助成金が支給されます。助成金の金額は自治体によって異なり、製品の種類や価格などによっての変わります。申請の方法や時期も自治体ごとに異なりますので、購入前居住地の自治体に確認しておく必要があります。助成金制度がない自治体もあります。

また、この助成金制度は**中古品は対象外、未使用品であっても助成金の対象外**です。

そのため、未使用品の家庭用生ゴミ処理機の売価設定には注意が必要で、

新品市場価格・店舗のある自治体の助成金 > 店舗での売価

となるように設定しなくてはなりません。

・食器洗い乾燥機

台所に設置する家電製品のひとつで皿や茶碗などの食器を全自動で洗浄から乾燥まで行う機械です。

食器洗い乾燥機は設置工事が必要となる品なので取り扱いはしません。

・ミシン

手縫いよりも早く、丈夫に縫うことが出来る機械です。家庭用から用途に応じていくつかの種類があります。

ハードオフ・オフハウスでミシンを購入される方は日常的に洋裁をされているか、初めて買うかのどちらかです。安心して買っていただくためにも最低限の知識はっておかなくてはなりません。ミシンは4種類に分けられます。

①家庭用ミシン

家庭の部屋に置ける大きさで、電気を動力源とします。毎分700から1000針と速く縫うことが出来ません。

②職業用ミシン

仕立て屋、洋裁をする個人用の直線縫い専用のミシンで、毎分1500針で縫うことが出来ます。

③ロックミシン

縁がかり専用ミシンで、オーバーロック専用機・カバーロック専用機・複合機があります。

④工業用ミシン

縫製工場に備え付けられている大型のミシンです。

お持ち込みされるのは主に家庭用ミシンのため、家庭用ミシンについて説明します。家庭用ミシンには「電動ミシン」、「電子ミシン」、「コンピューターミシン」があります。

電動ミシン

針の上下の動きを内蔵モーターによって行い、モーターの速度は電圧によって変化させます。フットコントローラーで操作するミシンが多いです。

特徴：構造が簡単な昔ながらのミシン

新品市場価格で8,000円～15,000円前後

電子ミシン

糸調子や縫い目の調節、模様選択などの設定をダイヤルを手で回して行います。針の上下運動は電子回路で制御します。

特徴：ダイヤルなどを回して縫い目模様の切り替えをする。針の停止位置が一定（上で止まるものが多い）

新品市場価格で20,000円～45,000円前後

コンピューターミシン

コンピューターを内蔵し、針の上下運動をはじめ糸調子や縫い目の調整など全てをコンピューター制御で行い、ボタンを押すだけでさまざまな操作が出来ます。文字や複雑な模様などの刺しゅうができるのもコンピューターミシンならではの機能です。

特徴：ボタンを押すだけで文字、複雑な模様、刺しゅう縫いなどができる。便利な機能を自動的に行えます。

新品市場価格で30,000円～150,000円前後



電動ミシン

電子ミシン

コンピューターミシン

釜の種類

最近の家庭用ミシンでは水平釜が主流になってきていますが、「昔から縦釜を使っているのに慣れている」「下糸の調整ができる」などの理由で、買い替えをするときも縦釜を選ばれる方はまだまだいらっしゃいます。お客様からの問い合わせを受けることがあるので釜の種類も覚えておきましょう。



水平釜

- ・ボビンケースが不要
- ・下糸の残量が一目でわかる



縦釜

- ・ボビンケースが必要
- ・下糸調整ができる

ミシンの製造メーカー

3大メーカー：ブラザー、ジャノメ、JUKI

その他メーカー：シンガー、ベビーロック、ジャガー、トヨタ…など

※シルバー精工、リッカーは倒産して会社が存在しないため保守を受けられません。要注意。

付属品について

説明書・付属品完備の状態での販売が望ましいです。

付属品の欠品により、一部の機能が制限される可能性があります。

年式が古いものの場合はパーツの取り寄せも出来ないため販売時は欠品部品があることを明記しましょう。

3.空調・シーズン家電

①除湿機・除湿乾燥機

除湿機は湿度を下げることで室内を快適にする機械です。
温度を下げるのではなく、空気中から水(とエネルギー)を奪います。
除湿機はこれまでシーズン家電として取り扱われてきましたが、新しい除湿方式の登場により「一年を通して使える家電」へと変貌しました。

2つの除湿方法

除湿機には「コンプレッサー式」と「ゼオライト式」の2つの除湿方式があります。
それぞれ長所、短所があるため使い方に適したモデルを選ばなくてはなりません。
運転方式を理解しないで販売するとクレームにつながる可能性があります。

除湿方式	コンプレッサー式	ゼオライト(デシカント)式
外観写真		
仕組みの概要	空気を冷やすことで水分を取り除く方式 エアコンと同じ方式で、コンプレッサーを用いて冷媒(フロン)を循環させ冷却器で水分を含んだ湿った空気を冷却し湿気を水滴に変える。空気は気温が高いと取り込める水分量が多くなり、逆に気温が低いと取り込める水分量が少なくなる。 コンプレッサーを使用しているので横倒しして運搬できない。	水分の吸着性能に優れたゼオライト(乾燥剤)を用いて水分を取り除く方式、冷媒(フロン)を使わずに除湿可能。 ゼオライトに水分を吸着させ乾いた空気を吹き出します。吸着した水分は、ヒーターであたためられ熱交換器内を通り、冷やされて水滴に戻りタンクに溜まる。
長所	・高温時(25度以上)での除湿能力が大きいので梅雨～夏場に向く ・除湿量が多いので湿気の多い季節でもパワフルに乾燥できる ・消費電力が小さくランニングコストが安い ・室温上昇が少ない(1～2℃程度)	・低温時での除湿能力が高いので冬場でも使うことができる。気温に左右されない。 ・コンプレッサーが無いので軽量コンパクトで静か
デメリット	・コンプレッサーの振動音が大きい ・本体サイズが大きめでやや重い	・ヒーターを使うので消費電力が大きくなる ・発熱量が多くなり部屋の温度が上がる。(室温上昇は3～8℃程度)

ハイブリッド式

コンプレッサー式とゼオライト式の両方を搭載した方式です。

気温の高い梅雨～夏場は室温の上昇を抑えられるコンプレッサー式で、気温の低い冬場は低温でも能力の落ちないゼオライト式で運転するため年間を通して除湿能力を落ちないのが最大のポイントです。

両方の方式の良いところをとった方式で、ハイエンドモデルに搭載されているのでちょっと割高になります。

△ポイント

梅雨～夏場に使用するならコンプレッサー式、主に冬場の衣類乾燥に使うならゼオライト式、年間通して利用したいのならハイブリッド式を勧めてください。

具体的な除湿方式はともかく、それぞれの方式の名称と特徴は必ず覚えておきましょう。

②加湿器

加湿器は、室内の空気に水分を放出し、湿度を上げるための機械です。
乾燥しがちな冬場を中心に、風邪やインフルエンザ予防、肌や髪の乾燥対策、静電気の抑制に役立ちます。

4つの加湿方法

加湿器には4つの加湿方法があります。
それぞれ長所、短所があるため適したモデルを選ぶ必要があります。

①スチームファン方式

ヒーターで水を加熱し沸騰させて蒸気に変える方式で、やかんでお湯を沸かすのと同じ原理です。

ファンで蒸気を送り出すタイプとファンがついていないタイプがあります。

1万円以下の価格帯の商品に採用されています。

【長所】

- ・加湿のパワーが高く即効性がある
- ・水をいったん加熱させるので衛生的

【短所】

- ・ヒーターを使い蒸気を作るのでほかの方式に比べ消費電力が多い(200W～500W程度)
- ・スチームが出て吹き出し口が熱くなるので小さなお子様がいる家庭には向かない
- ・蒸発皿に残るミネラル分が水アカとして貯まっていく



②気化式

水を含んだフィルターにファンで風を送り気化させる方式で、洗濯物を乾かしたり、ホテルで乾燥防止のために濡らしたタオルを干しておく方法に近いイメージです。
20,000円前後の価格帯に多い方式です。

【長所】

- ・ヒーターを使用していないので吹き出し口が熱くならない
- ・送風のみなので消費電力が少ない(15～30W)

【短所】

- ・加湿パワーが弱く急速に加湿をする事が出来ない
- ・加湿フィルターの交換が必要

③加熱気化(ハイブリッド)式

湿度が低い時はフィルターに含んだ水分に温風をあてる加熱加湿を行い加湿量を多くします。湿度が安定してきたらヒーターを切り気化式に運転を切り替え湿度を一定に保つ運転をします。

スチームファン式と気化式を組み合わせたタイプです。

2万円以上のフラッグシップモデルに採用されています。

【長所】

- ・部屋の状況に応じて2つの方式を切り替えるので効率がよく省エネ

【短所】

- ・加湿フィルターの交換が必要

④超音波式

大手家電メーカーがだいぶ昔に撤退した方式で、最近アロマ加湿器やインテリア性の高いデザイン家電でよくみかける方式です。

ドライアイスのような白い煙が勢いよく出る方式です。

【長所】

- ・加熱しないので本体が熱くならずやけどの心配がない
- ・運転音が静か

【短所】→説明書の指示通りに定期的に清掃していれば防ぐことができる

- ・超音波式という方式の宿命でカビや微生物が発生しやすい
- ・水タンク内で増殖した微生物を空気中にばら撒いてしまうためアレルギー症状が出ることがある



△ポイント

それぞれの方式をよく理解できていないとお客様が要望している商品を勧めることができません。また、一般的に適用畳数は気化式・加熱気化式>スチームファン式となっています。最近の加湿器は、湿度に応じて自動で運転します。動作チェック中に水が減らないのはその場が適正な湿度だからです。

自宅で加湿器を使用していたら、説明書の仕様の部分をよく読んでみましょう。

③電気暖房

石油などの化石燃料を使用せず電気を使用して熱を発生させます。

代表的な電気暖房である電気ストーブ・セラミックファンヒーター・オイルヒーター・エアコンについて解説していきます。

使用する部屋の大きさ、目的に合わせて選ぶ必要があります。また、必ず契約アンペア数を確認して販売を行いましょう。

・電気ストーブ／ハロゲンヒーター／カーボンヒーター

ハロゲンランプや石英管を用い、その放射熱で暖める暖房器具です。

熱源の素材によって電気ストーブ・ハロゲンヒーターカーボンヒーターに分けられます。

【長所】

- ・スイッチONと同時に暖房能力を発揮する(ハロゲン・カーボンヒーター)
- ・本体が軽量、コンパクトなので容易に持ち運びできる

【短所】

- ・放射面が狭いため暖房能力が局所的で部屋全体を暖めることが出来ない
- ・使用する電力は大きい、暖房効率は低い(エアコンの20%程度)
- ・不良品・リコール率が高い(家電メーカー参入していない)



・セラミックファンヒーター

セラミックヒーターなどを使用した電熱部に、ファンで送風し空気を暖め温風を吹き出す電気暖房です。

電源をオンにすることですぐに暖房することができます。

【長所】

- ・灯油を使わないので転倒などによる火災の心配がない
- ・温風が出るのでほかの電気暖房より速暖性が高い

【短所】

- ・電熱部が着火温度より高くなるので火災の心配あり
- ・温風が出るのでアレルギー体質の人には向かない



・オイルヒーター

密閉容器内の難燃性の油を電熱器で暖め、循環させてラジエーターフィンから放熱し滞留や輻射熱によって部屋全体を暖める暖房器具。デロンギ、フィリップスの品が有名。

【長所】

- ・燃焼がなく温風もでないの部屋を汚さない
- ・騒音がなく、メンテナンスも不要

【短所】

- ・暖かくなるのが遅く、自然対流によって部屋を暖めるため時間がかかる
- ・ランニングコストが高い
- ・機密性が低い日本の住居事情にあっていない



・エアコン

エアコンは、室内空気を取り込み、機械本体が内蔵している熱交換器によって冷気を暖気に変えています。部屋全体を効率よく暖めることができ、冷房・暖房を使い分けることができるため、高い普及率を誇っています。

【長所】

- ・実は電気暖房で一番電気代がかからない
- ・ほかの電気暖房に比べ暖房効率が圧倒的に高い

【短所】

- ・冬の乾燥した空気をさらに乾燥させてしまうので加湿器が必須
- ・霜取り運転を行っているときは暖房運転が停止する(寒冷地には不向き)

